

加盟団体・協力団体 御中

公益財団法人日本陸上競技連盟

新型コロナウイルスに対する大会開催に際する留意点について（ご連絡）

拝啓 時下、益々ご清祥のことと存じます。

本連盟は、大会開催に伴う、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、大会に関わる者（選手、監督、審判員、スタッフ、メディア・取材者、観客等）の安全安心のため、下記の通りご連絡申し上げます。

貴団体の皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。また、貴団体が関わる大会や競技団体への情報共有をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 大会主催者

【事前準備】

- ・新型コロナウイルスに関する状況を常に確認し、政府、地域行政や大会主催、共催者等と協議の上、大会の開催・中止・縮小等について検討する。
- ・参加者へ突然の中止や縮小の可能性のあることを事前告知する。
- ・腋下体温が37度を超える場合の観戦は、控えて頂くようにウェブサイト等で事前告知する。
- ・大会の会場（大会本部、審判控室など）で使用する、消毒液や複数の体温計を用意する。

【大会当日】

- ・当日の入場時に、腋下体温が37度を超える場合の観戦は控えて頂くことをアナウンスや掲示などで周知する。
- ・感染予防策等の注意喚起や、密閉・密集空間、近距離での会話や発声・高唱を避ける等を実行する。
- ・更衣室の換気を頻繁に行い、選手に更衣を速やかに行うよう促す。
- ・表彰や招集時間を工夫して、多くの選手が集まらないようにする。
- ・コップの使い回しを禁止し、マイカップや使い捨ての紙コップを準備して使用する。弁当配給時には、ゴム手袋を着用するなど、衛生面に配慮する。
- ・器具を触った手で口や目に触らず、競技終了後入念な手洗いの実施を指導する。

【大会終了後】

- ・大会終了後2週間以内に、大会参加者の中から感染が確認された場合、行政等と相談の上、個人情報保護に最大限配慮をしつつ、適切な情報開示、参加者との情報共有に努める。

2. 大会の参加者（選手、監督、審判員、スタッフ、メディア・取材者等）への告知

- ・各自の責任で、手洗い、うがい、マスク着用を励行する。
- ・検温を義務付ける、大会主催者の求めに応じて、当日の体温を報告する。
- ・大会前日と当日の2日間連続で腋下体温37度を超える者は参加出来ない。
大会当日朝に初めて37度を超えた場合は、極力、大会への参加を見送る。
- ・大会終了後2週間以内に、感染が確認された場合、大会主催者に報告する。

以上